

## 第24回若葉区泉地域コミュニティバス運行協議会 議事要旨

### 1. 開催期間

令和4年6月26日（日）

### 2. 場所

白井公民館 講習室1・2 10:00～

### 3. 出席者

(自治会)

第17地区連協会、高根団地自治会、大広自治会、新宮田自治会、  
第18地区連協会、中田自治会、富田自治会、小間子自治会、大草町自治会、  
いずみ台ローズタウン自治会、金親町自治会

(千葉市)

若葉区地域振興課地域づくり支援室、交通政策課

(オブザーバー)

千葉県交通計画課、千葉都市モノレール(株)、社会福祉法人 泉寿会

(バス事業者)

千葉中央バス株式会社

### 3 配布資料

第24回若葉区泉地域コミュニティバス運行協議会・・・資料1

(参考資料)

- ・コミュニティバスの概要と現状
- ・モバイルチケットによる利用者利便性向上の提案
- ・コミュニティバス「いずみバス」路線追加要請の件

### 4 議事内容

(1) 安全対策上の支障があるバス停位置の見直し
安全対策上の支障があるバス停留所について、自治会における調整状況について進捗状況を確認。未対応のバス停は引き続き調整を行うよう事務局より依頼した。
(2) 利便性向上に向けた取組み
・利便性向上のための①バス停の位置の見直し、②フリー区間のエリア拡大については、引き続き地域住民からの意見を募集する旨事務局より報告した。 ・③バス停留所名の変更（3箇所）については、第23回運行協議会（書

面会議)にて賛成多数により可決された旨事務局より報告した。

- ・バス停留所名「平成元商前」を「さんたファーム前」に変更することについて決議をとったところ、賛成多数により可決された。
- ・回数券の再導入に向けて意見交換を実施。導入に向けてバス事業者と調整していくこととした。

(主な意見)

- ・公共交通では多くの利用者が電子マネーを使っている。回数券を作って販売する手間ひまをかけてもやるべきか。
- ・いずみ苑の入居者様は、回数券を利用した様子であった。電子マネーが利用できない人にとっては良い制度だと思う。
- ・現在利用している人にはメリットがあるが、利用者を増やすという観点では効果に疑義がある。今回は再導入ということだが、前回の導入経緯は。

(事務局より)

- ・回数券は、令和元年に収支改善のための運賃値上げをした際に、利用者離れを防ぐための施策の一環として実施した。回数券の導入効果については引き続き検討していきたい。

### (3) 地域の観光資源と連携した取組みの検討

デジタルチケットの導入による利便性の向上についてジョルダン(株)より説明があり、意見交換を実施した。

デジタルチケットの導入について、改めて決議をとったところ、賛成多数により可決された。

(主な意見)

- ・コミュニティバスの利用者は高齢者が多いため、高齢の方でも使いやすくする工夫が必要では。
- ・デジタルチケットの訪日外国人の利用について、自国のアプリを使用している方が多いと思うが。
- ・沿線施設とのサービス連携について、コミュニティバス沿線には入場料を取る施設があまりないと思うが。
- ・利用者にとっては利便性向上につながると思うが、事業者側にもメリットがあると考えているか。

(事務局・事業者より)

- ・デジタルチケットの利用の際は、アプリをダウンロードしていただくことになるが、日本語版と多言語版の用意がある。また、訪日外国人向けの掲示板などでアプリの周知を図っている。
- ・入場料をとるような施設だけでなく飲食店との連携も可能。また、沿線

にはイチゴ農園もあるため、そういった観光資源とも連携できればと考えている。

- ・バス事業者にとってもメリットのある話と考えており、コミュニティバスの存在を知ってもらえることが大きいと考えている。見知らぬ土地でバスに乗るということはハードルが高くタクシーを利用する方も多いと思う。そういった方に、コミュニティバスの存在を知ってもらい、少しでも利用増につなげられればと考えている。
- ・モノレール社としても、沿線人口減少する中、市のグリーンツーリズムなどの取組みと合わせて千城台周辺の観光資源に期待している。  
一方、モノレール駅は、ほとんどが無人駅なのでデジタルチケットの使用可能駅が限定されてしまうのが現時点での課題の一つと考えている。

#### (4) 大宮団地方面へのルート延長等の検討

いずみローズタウン自治会より、大宮台方面へのルート延長等について説明を行い、意見交換を実施した。

利用者への影響が大きいことから、各自治会を通じて地域住民にアンケートを行うこととした。なお、アンケートの作成については、事務局に一任された。

##### (主な意見)

- ・ダイヤやルートの変更は、現在の利用状況によって利益、不利益がどうしても出てしまう。学校の統廃合に伴う子供たちの通学のためという理由に絞って説明したほうがいいのではないかな。
- ・協議会に参加している自治会のすべてにアンケートをとるのか。いずみバス路線と離れた自治会まで調査すべきか。
- ・アンケートを実施することで、普段利用していない人にもコミュニティバスを知ってもらうきっかけになるとともに、地域の課題について、協議会の場できちんと議論されていることを知ってもらうことができる。
- ・いずみバス路線沿線の自治会と離れた自治会では1票の重みに違いがある。自治会員への情報提供等は行うが、議決権は放棄したい。

##### (事務局より)

- ・令和元年の運賃改定時も議論がされていたことを知らなかったという意見をもらっている。いずみバス路線沿線から離れた地域の方も、乗換え等で利用する可能性もあるので、アンケートは広く実施したい。
- ・アンケートの結果によっては、当然反対の意見も出ることも想定される。そうした場合、協議会の場だけではなく自治会間の意見交換の場を設けるなどして引き続き検討を重ねていきたい。
- ・アンケート内容については、本協議会での意見をふまえ、事務局で8月頃の

配布を目途に修正する。

(5) その他

社会福祉協議会白井地区部会長の推薦があり、次回協議会よりオブザーバーとして参画いただくことについて決議したところ、賛成多数により可決された。